

富良野市農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は複合経営が多く様々な作物を作付している。近年、農家の高齢化から農家戸数の減少が進んでおり、施設園芸に代表される野菜などの高い収益が望まれる作物は労働力の確保が難しく、面積の減少が懸念されている。畑作物に関しては他の地域に比して単収低下が顕著になっている。

また、酪農も盛んである当地域において家畜頭数は増加傾向にある。飼料作物の確保と家畜糞尿の有効利用が進んでいない。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

生産の目安に沿った作付面積を維持する。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

飼料用米の作付により生産の目安を指標に水田面積を確保する。

イ 米粉用米

米粉用米の作付により生産の目安を指標に水田面積を確保する。

ウ 新市場開拓用米

新市場開拓米の作付により生産の目安を指標に水田面積を確保する。

エ WCS 用稲

WCS 用米の作付により生産の目安を指標に水田面積を確保する。

オ 加工用米

複数年契約の推進により長期的な高価格帯需要から味噌等の低価格帯まで含め、幅広い需要を確保することで、生産の目安を指標に水田面積を維持する。

カ 備蓄米

備蓄用米の作付により生産の目安を指標に水田面積を確保する。

(3) 豆類、てん菜、麦類

適期防除など収量の向上に資する取組を行い、単収の増を図る。

(4) そば

適期防除など収量の向上に資する取組と面積を拡大する。

(5) 飼料作物

頭数の増加による飼料の確保と堆肥散布に対応するため、有畜農家への集積と資源循環を拡大する。

(6) 高収益作物（野菜等）

農家の収入安定と消費者ニーズに応える多種多様な作物の生産体制を維持・拡大する。

・メロン、西瓜、ミニトマト、スイートコーン

この4品は実需者からのニーズが高く、産地の特色を活かした生産、重点振興作物として作付面積の拡大を図る。

(6) 畑地化の推進

主食用米の需要の減少傾向が続くことが想定される中、農地の排水性の改善や集積等に計画的に取り組むためにも、地域における効率的な土地利用にも配慮しつつ、畑作物の本作化を考慮する。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 29 年度の作付面積 (ha)	平成 30 年度の作付予定面積 (ha)	平成 32 年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	640	635	635
飼料用米			
米粉用米			
新市場開拓用米			
WCS 用稲			
加工用米			
備蓄米			
麦	702	702	702
大豆	56	57	60
飼料作物（自給）	289	291	293
飼料作物（耕畜連携）	239	241	240
そば	15	16	16
なたね			
その他地域振興作物			
野菜	1163	1165	1168.5
メロン、西瓜、ミト マト、スイートコーン	205	206	208
果樹	0.4	0.4	1.0
花卉	1.0	1.0	1.5
ばれいしょ	16	16	18
てん菜	77	78	80
地力増進	68	68	68
豆類（大豆含まない）	9	11	12

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標値	
				現状値	目標値
1	野菜、ばれいしょ、 果樹、花き	高収益作物助成	作付面積	(29 年度) 1179ha	(32 年度) 1189ha
2	メロン、西瓜、ミトマト、 スイートコーン	重点振興作物助成	作付面積	(29 年度) 205ha	(32 年度) 208ha
3	てん菜	単収向上対策助成	作付面積 単収	(29 年度) 77ha 5.720kg/10a	(32 年度) 80ha 6,100kg/10a
4	てん菜	直播栽培助成	作付面積 直播率	(29 年度) 20ha 26.4%	(32 年度) 27ha 30%

5	豆類（大豆含む）	単収向上対策助成	作付面積 単収	(29年度) 66ha 216kg/10a	(32年度) 72ha 240kg/10a
6	麦	単収向上対策助成	作付面積 単収	(29年度) 702ha 459kg/10a	(32年度) 702ha 480kg/10a
7	そば	単収向上対策助成	作付面積 単収	(29年度) 15ha 90kg/10a	(32年度) 18ha 93kg/10a
8	飼料作物	飼料作物の自給率向上対策助成	作付面積 自給率	(29年度) 289.62ha 67.13%	(32年度) 293ha 68.03%
9	飼料作物	資源循環（耕畜連携）助成	作付面積 自給率	(29年度) 239ha 67.13%	(32年度) 245ha 68.03%
10	野菜、ばれいしょ、 果樹、花き	土づくりによる加算 助成	作付面積	(29年度) 17.7ha	(32年度) 20.0ha
11	てん菜、豆類、麦 そば	土づくりによる加算 助成	作付面積 単収 てん菜 豆類 麦 そば	(29年度) 27.7ha 5,720kg/10a 216kg/10a 459kg/10a 90kg/10a	(32年度) 32.0ha 6,100kg/10a 240kg/10a 480kg/10a 97kg/10a
12	そば	そば作付助成	作付面積	(29年度) 15ha	(32年度) 18ha

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内としてください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり